

院長コラム2 『アルコール消毒の濃度のベストは？』

特徴	エタノール消毒は皮膚や手指以外にも、テーブルやドアノブなどの環境の清拭に用いることができます。 速効性です。
濃度	一般に70%が推奨されるのは、以下の理由です。 1) <u>一般細菌</u> に対して最も効果的な濃度である。 2) 水分量の少ないものに対して、高濃度エタノールは不向き 一方、コロナウイルスなどの <u>エンベロープがあるウイルス</u> では、 45%の濃度でも効果 があります。
主な製品	消毒用エタノール（70%）、 ウエルパス®、ヒビソフト®などの エタノール濃度50%台の速乾性手指消毒薬
文献的考察	45%以上の濃度、作用時間10秒にて、 エンベロープウイルスが検出限界以下となる ¹⁾ 。 1) 殺菌・抗ウイルス効果に及ぼすエタノール濃度の影響, 東京医療保健大学大学院, 2019
(参考) 各国・機関 の推奨濃度	米国CDC; 60%以上 WHO; 62-71% 厚労省; 70%

当院ではみなさまに消毒していただけるよう、エタノール消毒(56%, 62%, 70%)を診察室, 待合室, 受付や入口などに配置しています。
来院時、診察終了後やお会計終了後に消毒してください。

